

# 痴漢などの

# 性被害ゼロの社会めざして

第3回定例会で取り上げた「都議団が行なった痴漢被害実態調査」にもとづき、世田谷区の対応を求める質問をしました。

## これは逃げられない問題

回答者の96.0%が被害を受けた。その多くが電車の中、路上、駅の構内、図書館などで被害を受けている。初めて被害に遭った年齢は18歳以下が71.5%、そのうち小学生以下が34.5%。子どもの頃から被害に遭っている。被害を誰にも話せなかつた人が約4割。

前回の質問でこの問題を取り上げた以上、ここから逃げることはできません。あらためて、区として痴漢被害ゼロを目指す取り組みを求める質問をしました。

## まずは実態の把握を

調べてみると、区として痴漢の実態などに関する調査やアンケートはこれまで行なっていませんでした。まずは実態調査を求めようとしたのですが、対応する部署がなかなか決まりません。ようやく人権・男女共同参画課が答弁を書くことになりましたが「まずは国の調査結果を活用する」という渋い答弁。しかし、ここからです。

## 安心できる相談体制を

小中学生から被害にあっている実態が、都議団の調査では明らかとなっています。

学校で安心して相談できる体制を求めました。教育委員会は「学級担任だけではなく、養護教諭やスクールカウンセラー、関係諸機

関と連携して児童生徒がさまざまな形で相談できる体制を構築している」「タブレット端末から直接悩みや不安を相談できる取り組みを始めている」「性暴力の根底にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、自分の大切さと共に他の人の大切さを認める態度を身につけることができるよう努める」など答弁しました。

## 包括的性教育を！

## 小中学校の教師向け研修が大好評

「包括的性教育」を進める立場で「大人にも性教育を」と議会で訴えてきましたが、保健所が実施した「教員向け研修」が大好評です。セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と出産に関する健康と権利）の正しい知識を得る機会とするために、国立生育医療センターで「プレコンセプションヘルスケア」に取り組む三戸麻子・母性内科医長を講師に行われました。参加者90人中80人がアンケートに回答し82.5%が大変満足・まあまあ満足と答えました。「大切なことを知った」「健康教育の必要性と性教育を絡めて認識できた」「大人も知らない性について知識が得られた」などの感想が寄せられています。

その後、中高生の保護者向けにも同じ内容の講演がオンラインで実施されました。

こんにちは  
日本共産党  
区議会議員

中里光夫 です



中里光夫区政報告  
2023年12月31日 No.308  
世田谷区代田4-33-1  
TEL 5432-2791 / FAX 3412-7480  
Email: [nakazato@jcp-setagaya.jp](mailto:nakazato@jcp-setagaya.jp)